

■ 講演及び分科会概要

講演 『新しい公共は未来を築けるか』

～ 地域から考える新しい公共とは ～

今や時代の一つのキーワードとなりつつある「新しい公共」。社会的課題の解決のための公共サービスの提供は専ら行政の役割としてきた考えから転換して、民における多様な主体がこれを担うというこの考え。従来、多くの自治体で行われてきた官から民への下請は、根本的な見直しが迫られます。共に考えてみませんか。

■ 講師プロフィール

根本祐二（ねもとゆうじ） 東洋大学経済学部教授。世界的な概念である PPP（パブリック・プライベート・パートナーシップ）の専門家として、政策立案や事業企画に取り組んでいる。

分科会1 『新しい公共』

～ 市民自治の視点から～

民間の得意なものを行政がやっていないか？行政が苦手なものを民間に押し付けていないか？二人の論客が「新しい公共」について語ります。

■ 講師プロフィール

福嶋浩彦（ふくしまひろひこ） 千葉県我孫子市長として「提案型公共サービス民営化制度」を誕生させ、全国に先駆けて民と官の連携の再構築をすすめてきた。行政刷新会議・事業仕分け民間評価者。中央学院大学教授。自治体議員政策情報センター長。日詰一幸（ひづめ かずゆき） 市民参加型行政の展開に関心を持ち、国政・地方選挙での公開討論会コーディネーターや、市民と行政が連携して取り組む「市民討議会」のアドバイザー、さらには各種NPOの活動に関与している。静岡大学人文学部教授。

分科会2 『未来を変えるあなたの選択』

～ グリーン電力社会へ～

毎日使う【電気】。原子力と自然エネルギー、本当のClean & Greenとはどんな電力？日本は2030年までにさらに14基の原子力発電所を建設する計画を打ち出しました。このまま、何も変えなくていいのでしょうか。あなたはどんな未来を選択しますか？

■ 講師プロフィール

飯田哲也（いいたてつなり） 1959年山口県生まれ。自然エネルギー政策を筆頭に、市民風車やグリーン電力など日本の自然エネルギー市場における先駆者かつイノベーターとして、国内外で活躍している。

分科会3 『まちづくりは市民のもの』

静岡県内の公共事業の問題点をクローズアップし日常にあるべき市民の自治を問う。

「楽しいまちづくりは市民のもの」を目指して前国立市長上原さんと一緒に考えよう。

■ 講師プロフィール

上原公子（うえはらひろこ） 東京・生活者ネットワーク代表を経て1999年5月国立市長に当選、2期8年務める。国立市景観権裁判原告団幹事。生まれが5月3日、憲法へのこだわり、地方自治をテーマに全国で講演など多方面で活躍。自治体議員政策情報センター幹事。

分科会4 『学校給食を変えたら

子どもたちがこんなに変わった』

～長野県上田市の勇氣ある、あたり前の実践～
輸入小麦は危険。全給食を減農薬地場の米飯へ。肉を減らして魚と野菜中心の献立で、荒れていた中学校がこんなに変わったという報告談です。

■ 講師プロフィール

大塚貢（おおつかみつぐ） 1936年長野県生まれ。1992年、中学校校長に就任。1997年、真田町教育長。定年退職後は、食・教育アドバイザーとして活躍中。上田市・東御市・小県郡教育委員会協議会会長。

分科会5 『ゼロ・ウェイストへの道』

～ 消費文明からもつたない文明へ～

ゼロ・ウェイストの理念をかがけ、ゴミの削減と資源化を進めている町田市（人口42万人）の実践を学びます。

化石燃料を使ってごみを燃やす時代は終わります。生ごみの資源化に焦点を当てます。

■ 講師プロフィール

廣瀬 立成（ひろせたちしげ） NPO法人町田発・ゼロ・ウェイストの会理事長、約1年、町田市ごみゼロ市民会議の代表を務め、「燃やさない、埋めない、作らない、買わない」の基本的理念の実現に向けて実証実験に取り組んだ。

分科会6 『自治体において真のセーフティネットを目指すために』

ホームレス問題など貧困が広がり、真のセーフティネットへの取組が求められています。その根幹をなす生活保護制度においては、ナショナルミニマムの役割がますます重要となっています。自治体においての自立支援の充実とその方向性について考えます。

■ 講師プロフィール

布川日佐史（ふかわひさし） 静岡大学教授。就労可能な要保護者への生活保障と就労援助対策がどのように展開しているかについて、日独比較研究を行ってきた。現在、生活保護における自立支援プログラムの実施状況に関する全国調査に取り組んでいる。

沢山の方のご参加をお待ちしています！！